

【宮崎県】

現在の景気：一部に持ち直しの動きがみられる。

3か月程度の見通し：横這い圏内で推移するとみられている。

個人消費：底入れの兆し。2月の大型小売店販売（店調前）は前年比1.5%減と15か月連続で減少。主力の衣料品は前年比2.3%増と3か月連続で増加。

住宅建築：持ち直し。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比6.6%増加、貸家が15.9%増加、分譲住宅が194.7%増加し、全体では前年比28.5%増と4か月連続で増加。

設備投資：工場の新設。食肉加工・卸業者の(株)野上食品（本社：都城市）が、約2億3,300万円を投じ、都城市に食肉加工の工場を新設。敷地面積は3,291.84㎡、延床面積は920.58㎡。従業員10名の新規採用を予定。2012年10月稼働、2013年度の生産高は5億8,100万円を見込む。

公共工事：低迷。2月の西日本建設業保証の保証対象請負総額は、国が前年比38.2%減少、独立行政法人等が96.0%減少、県が22.1%減少、市町村が9.7%減少し、全体では前年比35.8%減と5か月連続で減少。

輸出：持ち直し。2月の細島港通関輸出額（確報）は、韓国、英国、米国向けが約9割を占める機械類および輸送製品が前年比174.7%増加、インド、イタリア、フィリピン向けが約8割を占める繊維用糸および繊維製品が37.5%増加し、全体では前年比7.2%増と3か月連続で増加。

生産活動：低調。1月の鉱工業生産指数（季調済、速報値）は前月比11.0%上昇し93.5と5か月ぶりに上昇。前月比上昇した業種は、電子部品・デバイス、輸送機械、化学など9業種。原指数は前年比5.7%低下し85.5と11か月連続で低下。

観光：足許持ち直し。2月の宮崎空港乗降客数は前年比18.0%増の21万1,283人と2か月連続で増加。国内線は、上りが前年比15.9%増の10万2,621人、下りが18.6%増の10万5,481人。国際線は、出国が前年比99.0%増の1,642人、入国が94.8%増の1,539人。

雇用情勢：低水準ながら、持ち直しの動き。2月の有効求人倍率は前月比同水準の0.64倍。有効求人数は前年比0.4%増加、有効求職者数は0.7%増加。新規求人数は、医療・福祉などが増加し、全体では前年比7.8%増加。

（トピックス）

○みやぎん経済研究所の「企業動向アンケート調査」（対象：県内企業600社、回答率51.0%、四半期ごとに実施）の調査によると、今期（2012年1-3月期）の業況判断D Iは、前期（2011年10-12月期「△13」）比ほぼ横這いの△12。県内景気の判断は、「悪い」（71%）が前期比6ポイント低下したものの、依然として70%超え。2期連続で「良い」との回答はなく、景況判断は低水準。